

2025年度 第3四半期報告の概要

2026年2月13日
明治安田生命保険相互会社



I.	2025年度 第3四半期報告のポイント	P. 2
II.	明治安田グループの業績	P. 3
III.	明治安田単体の業績	P. 6
IV.	スタンコープ社の業績【参考】	P. 11
V.	業績見通し	P. 12

グループ保険料
(除く再保険収入)
3兆4,398億円

前年同期差 : 9,157億円増 (+36.3%)

- ・営業職員チャネルの円貨建一時払保険の販売好調、確定給付企業年金保険の引受再開が主な要因

グループ保険料
3兆4,662億円

前年同期差 : 9,359億円増 (+37.0%)

グループ業務利益^(注)
4,556億円

前年同期差 : 520億円増 (+12.9%)

- ・単体における「利息及び配当金等収入」の増加や、スタンコープ社の増益が主な要因

連結ソルベンシー・マージン比率
1,033.3%

連結ソルベンシー・マージン比率 前年度末差 : 30.6ポイント減

- ・引き続き高い水準を維持

2025年度 業績見通し

- ・グループ保険料は「增收」、グループ業務利益は「増益」の見通し(上半期決算報告時から変更なし)

(注)「グループ業務利益」は、明治安田単体の基礎利益から標準責任準備金の積み増し・戻し入れの影響を除いた単体の業務利益に、連結される子会社および子法人等ならびに持分法適用の関連法人等のキャピタル損益等を控除した税引前利益のうち、明治安田の持分相当額を合算し、明治安田グループ内の内部取引の一部を相殺したもの

1. グループ保険料

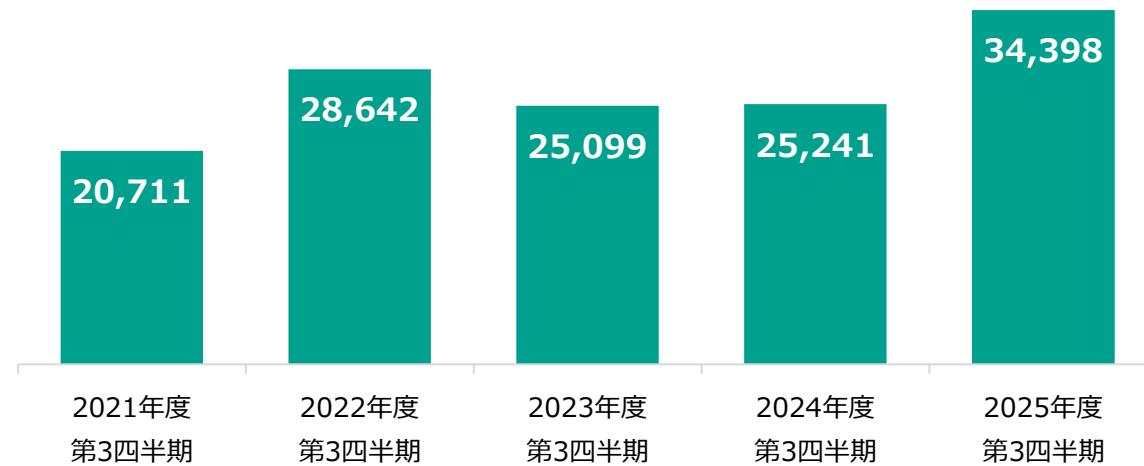
■ グループ保険料の状況

(単位：億円)

	2024年度 第3四半期	2025年度 第3四半期	前年同期比
グループ保険料（除く再保険収入） ^(注1)	25,241	34,398	+36.3%
明治安田単体	20,836	28,951	+38.9%
海外保険事業等 ^(注2)	4,405	5,446	+23.6%
うちスタンコープ社	4,084	5,167	+26.5%
グループ保険料 ^(注3)	25,303	34,662	+37.0%

■ グループ保険料（除く再保険収入）の推移

(単位：億円)



- グループ保険料（除く再保険収入）

は、単体における営業職員チャネルの円貨建一時払保険の販売好調と、確定給付企業年金保険の引受再開により前年同期から36.3%の増収

- スタンコープ社は、オールステート社の

団体保険事業の買収を主因として前年同期から26.5%の増収

(注1) 「グループ保険料（除く再保険収入）」は、「グループ保険料」から明治安田単体の再保険収入を除いたもの

(注2) 海外保険事業等は、明治安田単体以外の合算。なお、海外の子会社等は決算日が明治安田単体と3ヶ月ずれるため、第3四半期グループ業績への反映期間は1月から9月までの9ヶ月間

(注3) 「グループ保険料」は、連結損益計算書上の保険料等収入

2. グループ業務利益

■ グループ業務利益の状況

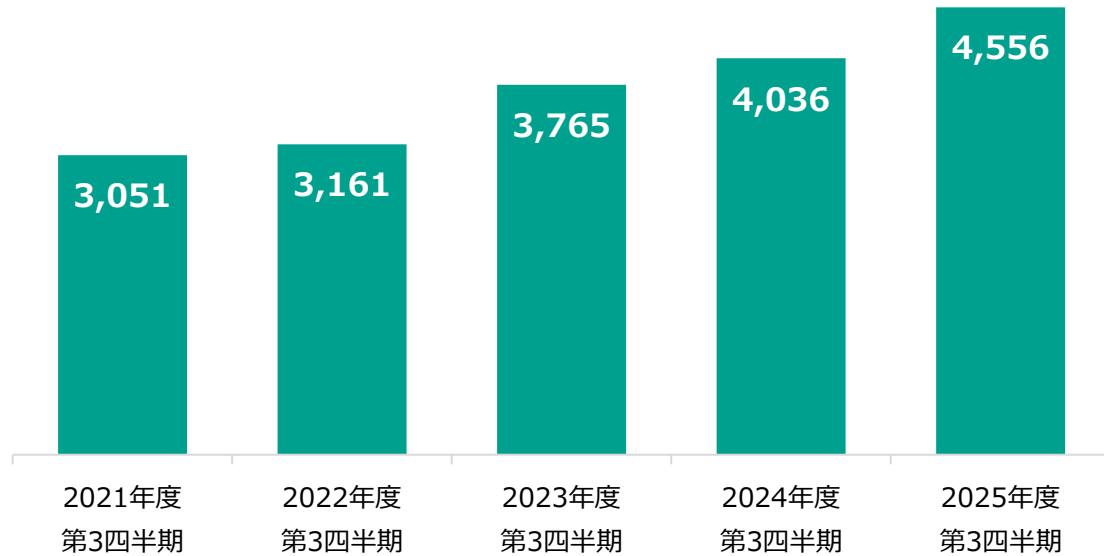
	2024年度 第3四半期	2025年度 第3四半期	前年同期比
グループ業務利益 ^(注1)	4,036	4,556	+12.9%
うち海外保険事業等 ^(注2)	764	1,237	+61.9%
うちスタンコープ社	619	1,010	+63.1%

(単位：億円)

- グループ業務利益は、単体における「利息及び配当金等収入」の増加や、スタンコープ社におけるオールステート社の団体保険事業の買収等を主因として、前年同期から12.9%の増益

■ グループ業務利益の推移

(単位：億円)



(注1) 「グループ業務利益」は、明治安田単体の基礎利益から標準責任準備金の積み増し・戻し入れの影響を除いた単体の業務利益に、連結される子会社および子法人等ならびに持分法適用の関連法人等のキャピタル損益等を控除した税引前利益のうち、明治安田の持分相当額を合算し、明治安田グループ内の内部取引の一部を相殺したもの

(注2) 海外保険事業等は、明治安田単体以外の合算。なお、海外の子会社等は決算日が明治安田単体と3ヵ月ずれるため、第3四半期グループ業績への反映期間は1月から9月までの9ヵ月間

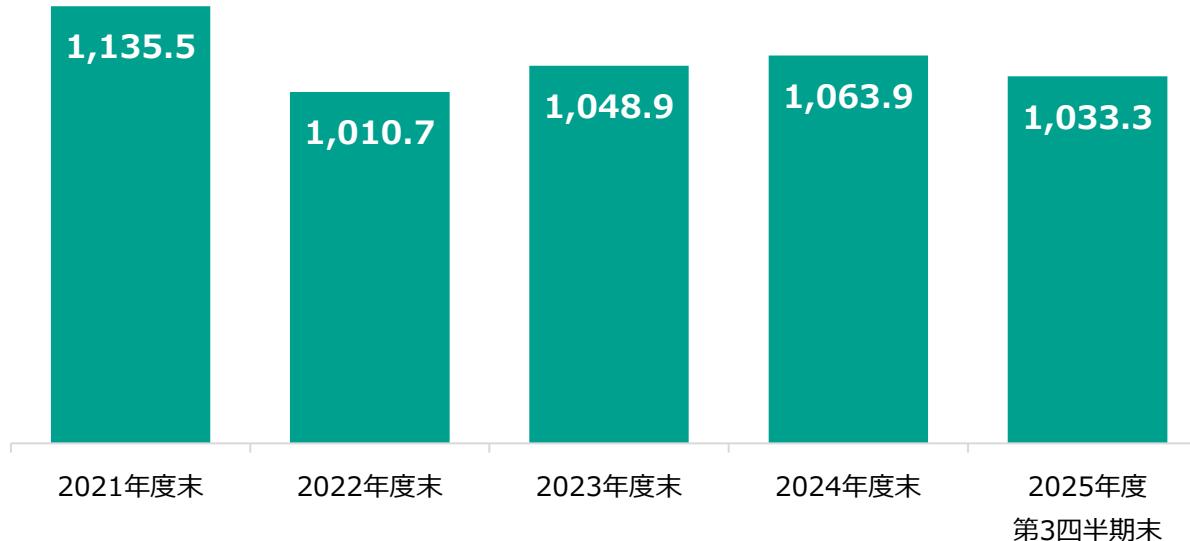
3. 健全性指標

■ 連結ソルベンシー・マージン比率

	2024年度末	2025年度 第3四半期末	前年度末差
連結ソルベンシー・マージン比率 ^(注)	1,063.9 %	1,033.3 %	△30.6ポイント

- 連結ソルベンシー・マージン比率は引き続き高い水準を維持

■ 連結ソルベンシー・マージン比率の推移



(注) 「ソルベンシー・マージン比率」とは、大災害や株価の暴落等、通常の予測を超えて発生するリスクに対応できる「支払余力」を有しているかを判断するための行政監督上の指標の一つ。この数値が200%を下回った場合、監督当局による業務改善命令等の対象

1. 保険料等収入

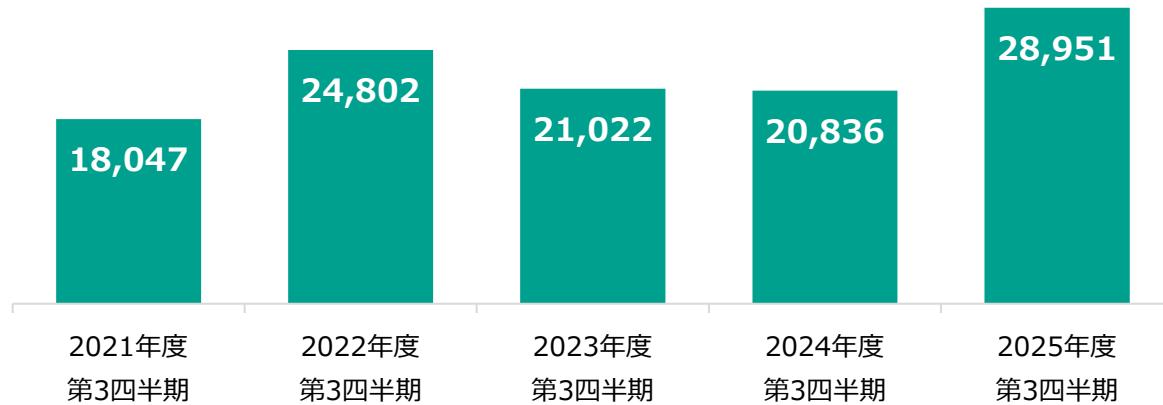
■ 保険料等収入の状況

(単位：億円)

	2024年度 第3四半期	2025年度 第3四半期	前年同期比
保険料収入	20,836	28,951	+38.9%
うち個人保険・個人年金保険	15,055	17,562	+16.7%
うち営業職員チャネル	10,760	14,725	+36.8%
うち銀行窓販チャネル	4,024	2,566	△36.2%
うち団体保険	2,238	2,274	+1.6%
うち団体年金保険	3,302	8,877	+168.8%
保険料等収入（注）	20,898	29,215	+39.8%

■ 保険料収入の推移

(単位：億円)



- 保険料収入は、2兆8,951億円と前年同期から38.9%の増収
- 営業職員チャネルにおける円貨建一時払保険の販売好調と、確定給付企業年金保険の引受再開が主因

(注) 「保険料等収入」は、明治安田単体の損益計算書上の保険料等収入のことと、保険料収入に再保険収入を加えたもの

2. 新契約年換算保険料・保有契約年換算保険料（個人保険・個人年金保険）

■ 新契約年換算保険料の状況（個人保険・個人年金保険）(単位：億円)

	2024年度 第3四半期	2025年度 第3四半期	前年同期比
新契約年換算保険料	946	1,233	+30.3%
うち営業職員チャネル	686	1,051	+53.3%
うち銀行窓販チャネル	251	172	△31.3%
保障性商品新契約年換算保険料 ^(注1)	251	229	△8.7%
第三分野新契約年換算保険料 ^(注2)	325	262	△19.3%

■ 保有契約年換算保険料の状況（個人保険・個人年金保険）

(単位：億円)

	2024年度末	2025年度 第3四半期末	前年度末比
保有契約年換算保険料	21,298	21,431	+0.6%
保障性商品保有契約年換算保険料 ^(注1)	6,132	6,108	△0.4%
第三分野保有契約年換算保険料 ^(注2)	5,156	5,198	+0.8%

- 新契約年換算保険料は、営業職員チャネルにおける円貨建一時払保険の販売好調を主因に、1,233億円と前年同期から30.3%の増加

- 保有契約年換算保険料は、円貨建一時払保険の販売好調を主因に、前年度末から0.6%の増加

(注1) ベストスタイル等の総合保障型保険、医療・介護保険等の保障性商品を対象

(注2) 第三分野は、医療保障給付、生前給付、保険料払込免除給付等に該当する部分を計上

3. 業務利益

■ 業務利益の状況

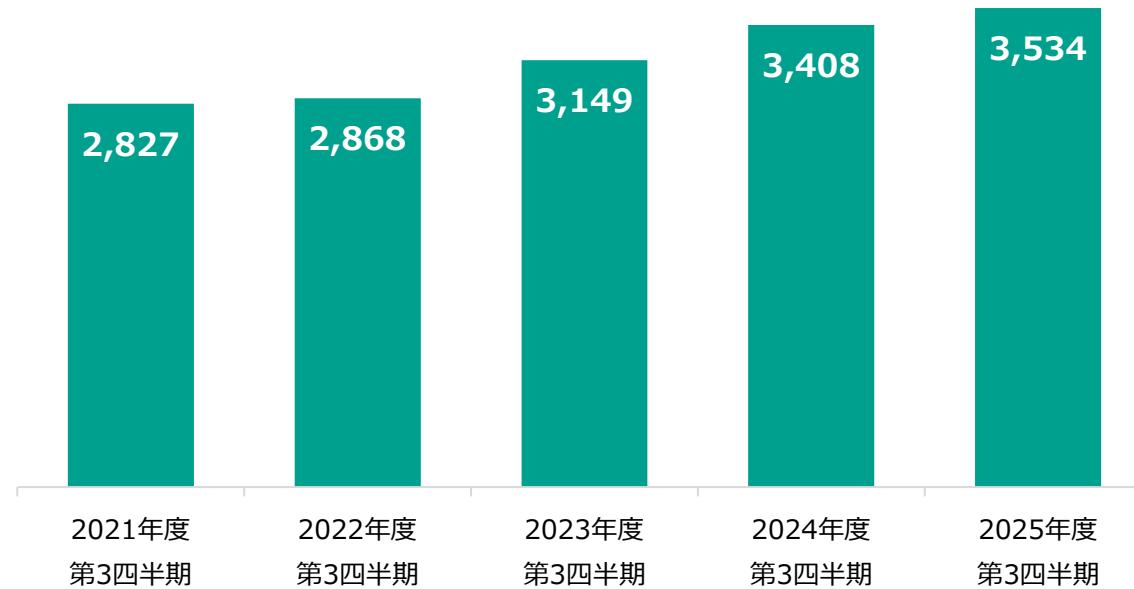
	2024年度 第3四半期	2025年度 第3四半期	前年同期比
業務利益（注）	3,408	3,534	+3.7%

(単位：億円)

- 業務利益は3,534億円と、「利息及び配当金等収入」の増加等により、前年同期から3.7%の増益

■ 業務利益の推移

(単位：億円)



(注) 業務利益は明治安田単体の基礎利益から標準責任準備金積み増し・戻し入れの影響を除いたもの

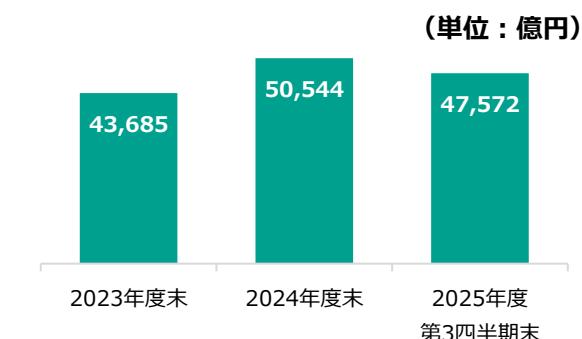
4. 健全性指標

■ オンバランス自己資本

	2024年度末	2025年度 第3四半期末	前年度末差
オンバランス自己資本 ^(注)	50,544	47,572	△2,972

(単位：億円)

■ オンバランス自己資本の推移



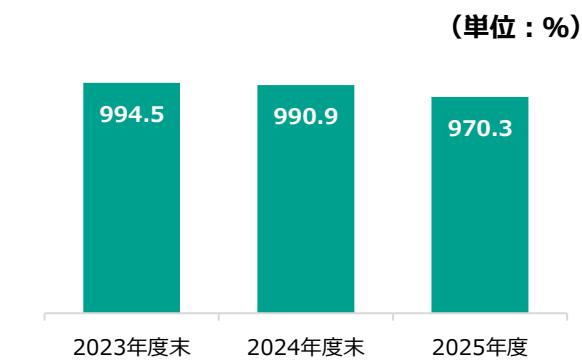
(単位：億円)

■ ソルベンシー・マージン比率

	2024年度末	2025年度 第3四半期末	前年度末差
ソルベンシー・マージン比率	990.9%	970.3%	△20.6ポイント
ソルベンシー・マージン総額	110,907	124,607	+13,699
リスクの合計額	22,383	25,683	+3,300

(単位：億円)

■ ソルベンシー・マージン比率の推移



(単位：%)

■ 実質純資産額

	2024年度末	2025年度 第3四半期末	前年度末差
実質純資産額	88,135	99,812	+11,677
一般勘定資産に対する比率	19.3%	21.1%	+1.8ポイント

(単位：億円)

(注) 所定の内部留保等と外部調達資本の合計

5. 含み損益、国内株式含み損益ゼロ水準

■ 一般勘定資産全体の含み損益

(単位：億円)

	2024年度末	2025年度 第3四半期末	前年度末差
一般勘定資産全体の含み損益	40,780	54,079	+ 13,298
うち時価のある有価証券 ^(注1)	34,278	47,370	+ 13,092
うち公社債	△ 13,858	△ 21,183	△ 7,325
うち国内株式	42,344	57,271	+ 14,926
うち外国証券	4,820	9,178	+ 4,357
うち不動産	6,496	6,561	+ 64

- 一般勘定資産全体の含み損益は5兆4,079億円と前年度末から1兆3,298億円増加
- 国内金利上昇により公社債の含み損が拡大した一方、国内株価上昇により国内株式の含み益は増加し、全体の含み損益は増加

■ 国内株式含み損益ゼロ水準

仮に当社ポートフォリオがTOPIXに完全に連動するとした場合

	2024年度末	2025年度 第3四半期末
TOPIXベース	700ポイント程度	710ポイント程度

(注1) 有価証券には、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるもの等を含む

(注2) 日経平均株価ベースでは10,000円程度

スタンコープ社の保険料等収入、業務利益相当額、当期純利益

■ 保険料等収入、業務利益相当額、当期純利益の状況^(注1)

(単位：億円)

	2024年度 第3四半期	2025年度 第3四半期	前年同期比 ^(注3)
保険料等収入	4,084	5,167	+26.5%
業務利益相当額 ^(注2)	619	1,010	+63.1%
当期純利益	145	245	+68.8%

- 保険料等収入・業務利益相当額・当期純利益は、オールステート社の団体保険事業買収を主因に増収・増益

(注1) スタンコープ社は決算日が明治安田単体と3ヵ月ずれるため、第3四半期グループ業績への反映期間は1月から9月までの9ヵ月分

(注2) 業務利益相当額は、税引前利益からキャピタル損益や買収会計に伴う無形資産償却費用等を控除したもの

(注3) 現地通貨ベースでの前年同期比は保険料等収入+21.3%、業務利益相当額+56.4%

※2024年度第3四半期は2024年9月末の為替レート（1米ドル= 142.73円）

2025年度第3四半期は2025年9月末の為替レート（1米ドル= 148.88円）で円換算

2025年度業績見通し

※当社グループが現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づき算出しており、今後の環境等により下振れの可能性があります。

■ グループ保険料の見通し

	2024年度 実績	前年度比	2025年度 見通し
グループ保険料 (除く再保険収入)	34,094億円	増加	43,000億円程度
うちスタンコープ社	6,090億円	増加	7,000億円程度

■ グループ業務利益の見通し

	2024年度 実績	前年度比	2025年度 見通し
グループ業務利益	6,674億円	増加	7,000億円程度
うちスタンコープ社	979億円	増加	1,200億円程度

- 上半期報告時の「增收・増益」から変更なし

- グループ保険料の見通しは、単体の営業職員チャネルにおける円貨建一時払保険の販売量の上振れや、確定給付企業年金保険の引受けが好調であることを反映して、上半期報告時の40,000億円程度から上方修正

- グループ業務利益の見通しは、単体の「利息及び配当金等収入」の上振れや、スタンコープ社における団体保険・個人就業不能保険の給付率の下振れ等を反映して、上半期報告時の6,700億円程度から上方修正